



Kiyohara

脳機能 刺激実験支援システム

視覚刺激提示装置 / 聴覚刺激提示装置

触覚刺激提示装置 (圧刺激) **NEW**

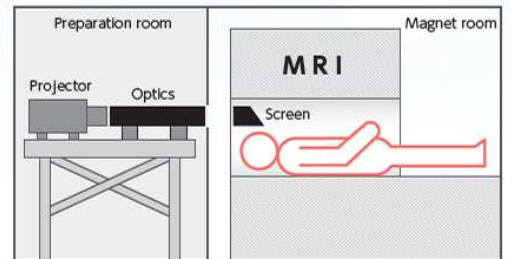
▶ 視覚刺激提示装置

脳機能の計測を行うために、ガントリー内の被験者へ視覚刺激映像を提示するシステムです。fMRI室外に置いたプロジェクターの映像を導波管を通してガントリー内に設置したスクリーンへ投影します。被験者の頭側投影もしくは足側投影の2種類があります。fMRI計測室の形状に合わせて、設計および設置まで行います。また、導波管の無いfMRI計測室でも対応いたします。3D表示が可能なステレオタイプもございます。



【構成】本装置の構成は以下のようになっております。

1. 液晶プロジェクター
2. 縮小投影光学系
3. 光路変換ミラー
4. fMRI用スクリーン
5. ヘッドコイル用ミラー
6. 非磁性眼鏡(オプション)



▶ 聴覚刺激提示装置

聴覚刺激提示システムとして非磁性ヘッドフォン・非磁性マイク・ミキサー・アンプ・操作室内用マイクで構成されています。ヘッドフォンは、エアチューブによる空間伝播のエアチューブ方式と、高音質なセラミックコンデンサ型ヘッドフォンの2種類があります。両システムともヘッドコイル内の使用を想定した薄型ヘッドフォンです。



▶ オプション

● 非磁性眼鏡

被験者の視力を矯正するために使用し、計測の妨げにならない様に非磁性の素材を使用した眼鏡セットです。片側2枚のレンズを挿入可能です。近視・遠視・乱視の方でもより鮮明な映像をご覧頂けます。乱視用レンズは回転できるようになっております。56種類のレンズセットと非磁性眼鏡フレームで構成されています。



● 非磁性眼鏡



● 眼鏡レンズセット

脳機能 NEW 圧刺激装置

圧刺激装置はfMRI環境下で
被験者に圧刺激を与える装置です。



概要

脳研究のニーズに対応した触覚刺激装置は、手の指先に装着し、
圧刺激を与える事が可能です。

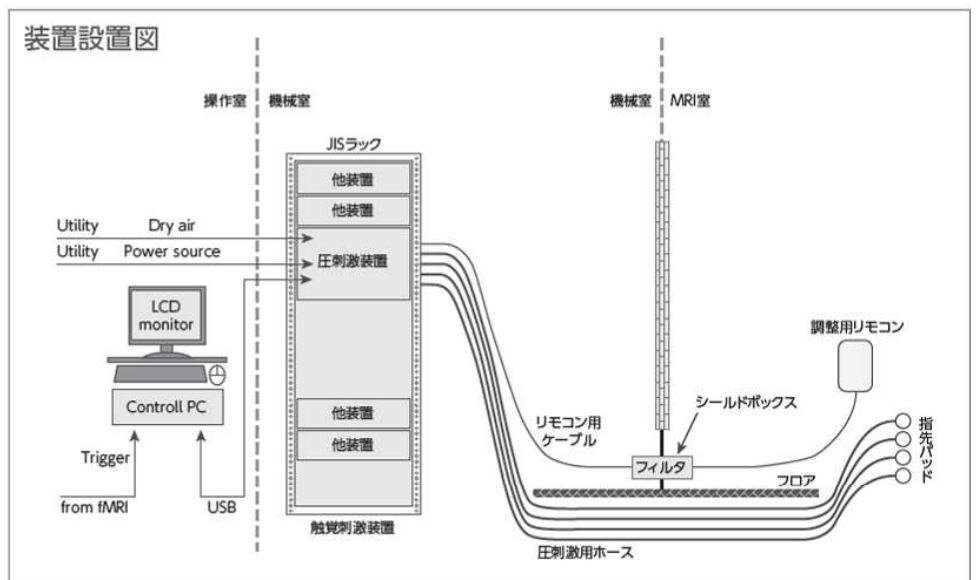
特 長

- 1** 指先パッドは非磁性体を使用しており、
強磁場下で圧刺激が可能です。
- 2** 本体側でon/off制御、予圧調整、
本圧調整等全ての操作が可能です。
- 3** fMRI室内でもリモコンによって
4チャンネルのon/off制御が可能です。
- 4** 制御は汎用コンピュータのUSBポートから行います。
- 5** 4チャンネルの完全並列制御を行います。
- 6** 各チャンネルは、予圧強度、本圧強度を独立に設定できます。
- 7** 各チャンネルの刺激素子を、手首・足首、顔の一部、
手足の各指などに、分離して設置する事も可能です。(オプション)

レイアウトイメージ



当社ではお客様のニーズにあわせて、MRI室の状況に対応したfMRI用
視覚を始め様々な刺激提示システム
を設計製作します。



【製品に関するお問い合わせ】

株式会社 清原光学 / KIYOHARA OPTICS Inc.

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-23-2

TEL : 03-3352-1919(代) FAX : 03-3352-3348

E-mail:sales@koptic.co.jp